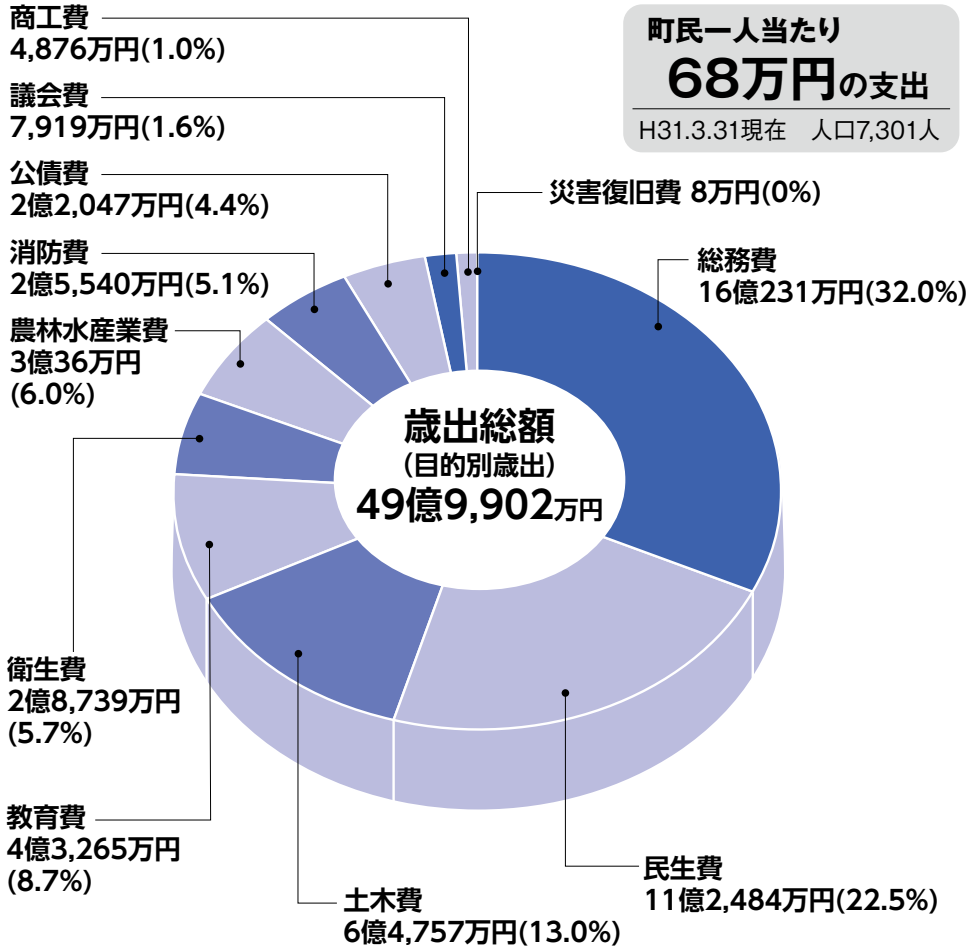


健全な財政運営に努めました

平成30年度

決算



一般会計の歳出は49億9,902万円で
前年度に比べ9.0%の増となりました。

平成30年度 歳入歳出決算総括表

区分	歳入決算額	歳出決算額	差引額	
一般会計	52億6,152万円	49億9,902万円	2億6,250万円	
特別会計	国民健康保険	10億1,310万円	9億7,359万円	3,951万円
	農業集落排水	8,432万円	8,382万円	50万円
	公共下水道	3億1,603万円	3億1,553万円	50万円
	介護保険	6億6,012万円	6億3,427万円	2,585万円
	後期高齢者医療	9,151万円	9,104万円	47万円
合計	74億2,660万円	70億9,727万円	3億2,933万円	

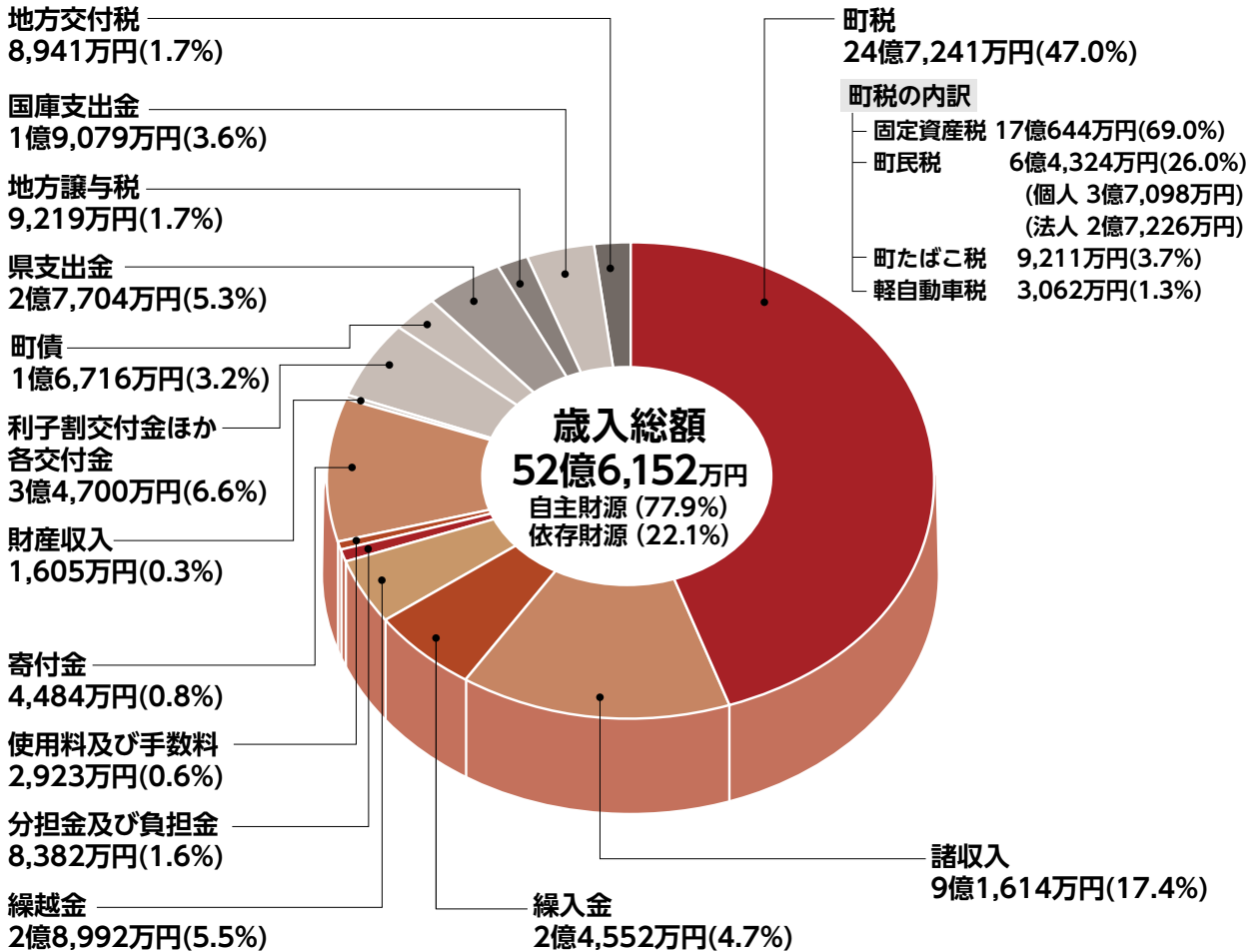
財政状況の公表

平成30年度決算が、9月19日定例議会で承認されました。決算は平成30年度に皆さんが納めた税金などをもとに、どのような事業が行なわれたかを示すとともに、町の一年間の歩みの結果でもあります。

平成30年度、町には一般会計と5の特別会計があり、各会計の決算の概要についてお知らせします(1万円未満を四捨五入しているため、合計と内訳が一致しない箇所があります)。



快適さ豊かさを実感できる町づくりのため

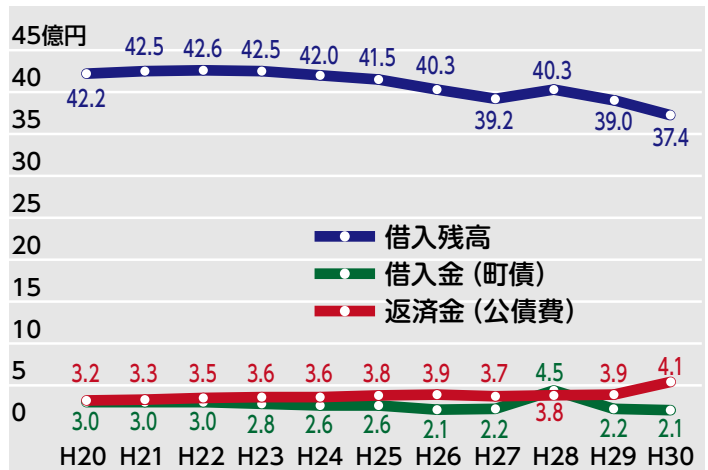


一般会計の歳入は52億6,152万円で前年度に比べ9.0%の増となりました。

●町の財産

		(前年比)
土地	575,256㎡	-248㎡
建物	49,398㎡	-35㎡
基金	24億945万円	+9,557万円
有価証券及び出資金	13億3,343万円	+4,378万円

●町債の状況 (全会計)



●町の借りているお金 (全会計)

区分	現在高
一般会計	24億7,518万円
特別会計 (下水道関係)	12億5,899万円
計	37億3,417万円

平成30年度 主な事業（一般会計分）

総務費	大型バス更新事業	1,743万円	
	各種基金積立金	3億1,207万円	
	ふるさと納税事業	1,809万円	
	上水道基本構想策定事業	492万円	
	日本版DMOを活用した 観光魅力発信事業	2,998万円	
民生費	支援給付事業	1億5,621万円	
	福祉センター改修事業	1億1,364万円	
	国保特別会計繰出金	6,324万円	
	介護保険特別会計繰出金	1億409万円	
	放課後児童健全育成事業 児童手当支給事業	2,400万円 9,200万円	
衛生費	母子保健・子ども医療事業	2,042万円	
	各種検診及び予防接種委託事業	2,099万円	
	ごみ処理事業	1億3,112万円	
	ゴミ袋無料配布事業	638万円	
農林水産業費	転作達成報償費	603万円	
	農業次世代人材投資資金 (経営開始型)	1,302万円	
	産地パワーアップ事業補助金	7,867万円	
	成田用水土地改良事業関係助成	3,940万円	
	小規模治山緊急整備事業	674万円	
商工費	芝山町商工会補助金	475万円	
	はにわ祭補助金	600万円	
	芝山町観光協会補助金	400万円	
土木費	地籍調査等業務委託事業	4,343万円	
	道路維持事業	6,706万円	
	道路新設改良事業	1億1,626万円	
	公共下水道事業繰出金	1億9,005万円	
消防費	広域行政組合負担金（常備消防費）	1億5,193万円	
	消防車整備事業	4,160万円	
	J-A-L-E-R-T機器更新事業	759万円	
	防災計画等策定事業	607万円	
教育費	外国語指導助手派遣事業	599万円	
	スクールバス運行業務委託事業	2,787万円	
	中学生奄美市派遣事業	171万円	
	芝山小ブロック塀改修事業	491万円	
	芝山中テニスコート人工芝等施補修事業	523万円	
	芝山公園球場改修事業	1,990万円	
	調理・配缶等業務委託事業	3,164万円	
	給食センター賄材料費	2,906万円	

一般会計性質別決算

(単位:万円、%)

区 分	平成 30 年度		区 分	平成 30 年度	
	決算額	構成比		決算額	構成比
1. 消費的経費	36 億 6,068	73.3	2. 投資的経費	5 億 4,147	10.8
(1) 人件費	9 億 9,296	19.9	(1) 普通建設事業	5 億 4,139	10.8
ア 職員給	6 億 2,672	12.5	ア 補助	1 億 1,307	2.3
イ その他	3 億 6,624	7.4	イ 単独	4 億 2,832	8.5
(2) 物件費	9 億 7,675	19.5	(2) 災害復旧事業	8	0.0
(3) 維持補修費	4,729	1.0	ア 補助	0	0.0
(4) 扶助費	3 億 5,718	7.2	イ 単独	8	0.0
(5) 補助費等	9 億 2,066	18.4	3. 公債費	2 億 2,047	4.4
(6) その他	3 億 6,584	7.3	4. 繰出金	5 億 7,640	11.5
ア 投資等	5,377	1.1	合 計	49 億 9,902	100.0
イ 積立金	3 億 1,207	6.2			
ウ その他	0	0.0			

健全化判断比率及び資金不足比率の公表

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に基づき、平成30年度決算をもとに算定した財政健全化判断比率及び資金不足比率を公表します。

財政健全化判断比率の4指標のうち1つでも基準を超えた場合は、「財政健全化計画」や「財政再生計画」を定めることになっていますが、芝山町では財政健全化判断比率及び資金不足比率でも基準を超えることなく、健全な財政を保っています。

◎財政健全化判断比率

(単位:%)

	実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
芝山町数値	—	—	5.3	—
早期健全化基準	15.0	20.0	25.0	350.0

(注意) 実質赤字額、連結実質赤字額または将来負担額がない場合は、「—」と表示。

◎資金不足比率

(単位:%)

特別会計の名称	資金不足比率	経営健全化基準
農業集落排水事業特別会計	—	20.0
公共下水道事業特別会計	—	20.0

(注意) 資金不足額がない場合は、「—」と表示。

〔用語の説明〕

- ・実質赤字比率……一般会計における赤字の程度を指標化したもの。
- ・連結実質赤字比率……全ての会計における赤字の程度を指標化したもの。
- ・実質公債費比率……借入金およびそれに準じた経費の一般財源における比重を指標化したもの。
- ・将来負担比率……一般会計の借入金や将来支払っていく可能性のある経費などの現時点での残高の程度を指標化したもの。
- ・資金不足比率……公営企業会計の資金不足を料金収入等の額と比較して指標化したもの。